

第2回 『円い町』文学賞募集

募集期間：2021年7月15日～2022年8月31日

主催：サークル『円い町』

後援：新居浜市教育委員会

応募要項

主催 サークル『円い町』（まるいまち）

募集テーマ コミュニケーション（つながる心と心）を扱い、タイトルは自由

① 小説・随筆部門 A4判400字詰原稿用紙 3～30枚
パソコンの場合20字×20行

② 詩部門 A4判400字詰原稿用紙 1枚

③ ①②部門共、未発表のものに限る。

賞金

① 小説・随筆部門 一席 1名 3万円
二席 2名 1万円
佳作 若干名 5千円

② 詩部門 一席 1名 5千円
二席 2名 3千円の図書券
佳作 若干名 1千円の図書券

入賞者該当者なしもあり

選考員 鈴木寂静 他

応募要件 年齢不問・国内の精神障がい者の方とその理解者

締め切り 2022年8月31日（当日消印有効）

発表 2023年3月31日までに入賞者に通知

応募に関して、①か②のどちらかを選択し、①の場合【小説か随筆】を明記する。

名前（ペンネームも）フリガナ・郵便番号・住所・年齢・職業・連絡先・枚数を表紙一枚に書き、通し番号を記入し、右肩を綴じる。

応募作品は返却しないので、必要な人はコピーをお取りください。

応募先 〒792-0893 愛媛県新居浜市多喜浜1-7-30
鈴木寂静『円い町』文学賞事務局

問い合わせ 0897-45-3216（鈴木）

主旨

～ひとつの人格をもった人間として
宣言する～

私は精神障がい者で、現在71歳です。理想は、『円い町』つまり健常者との共生共存（共生社会）が実現している町です。16年の間に10冊の詩、随筆、小説を自费出版しています。その中で小説『揺れる交差点』は、日本図書館協会の選定図書に認定されました。出版を通して、自分の障がいを描き、障がい者文学の確立のために尽力してきました。共生社会については、さまざまな人たち（当事者自ら）がようやく声を上げ始め、その声々をマスコミでも取り上げられるようになりました。そこで私が言いたいことは、もう健常者とか障がい者とかいうように壁を作ることはやめようと思います。みんな同じ人間ではありませんか。お互いに違いを認め合い、支え合うこと。これが障がい者文学の理想であり、また『円い町』の具現化です。「みんなちがって、みんないい」金子みすゞが言っているような多様性のある社会を私は主張したいです。そのために二回目の『円い町』文学賞を募集します。障がいがあるがなかろうが、みんなが生き生きと毎日を暮らせるよう、切に願っています。

どうか、多くの皆さんが応募なされることを、お待ちしております。

代表 鈴木寂静（すずきせきせい）